

政務活動報告書 ( 県外 ) ・ 国外 )

活動事項	畜産物の認証制度による安全安心の取り組み
活動年月日	令和2年10月26日
場所	島根県議会議事堂別館
活動の相手方	島根県農畜産課畜産室 加地紀之室長
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 島根県の畜産物の安全・安心を確保するための県独自の GAP 認証制度「美味しまね認証」について調査。</p> <p><b>【内容】</b> 島根県内で生産される農林水産物の高い安全性と品質を確保し、国際水準 GAP 等の取得を推進するため、島根県独自 GAP 「美味しまね認証」制度を平成21年度に創設。 平成28年度 東京オリパラ食材調達基準を準拠。 平成31年度 新たな上位認証基準「美味しまねゴールド」(JGAPと同水準)を制定。 令和2年度 新規認証は上位基準(美味しまねゴールド)のみに。 令和6年度 上位基準に一本化。 進め方のポイント 販売面のメリットを發揮できる団体認証の推進。県内での指導・審査体制の整備。キャンペーンや美味しまねパートナー店の展開による販路拡大の支援など。</p> <p><b>【結果(成果)等】</b> 畜産分野では、鶏卵、肉養鶏、肥育牛、生乳において19農場等で美味しまね認証が取得され、県内に広がりつつある。 県職員等による現地審査、専門的な視点での専門部会審査、第三者機関である審査委員会による審査という審査体制が、島根県内において整備され、審査費用が無料で、農家が取り組みやすい。 認証農場の中には、島根県内スーパーの中に専用コーナーが設けられ、東京伊勢丹デパートの精肉コーナーでの常時販売や食品コンサルタント会社と連携して、首都圏の高級飲食店40店舗以上に販売している事例もある。 同様の制度の県内導入について、研究・検討する必要も感じた。</p>
関連領収書番号	117, 118

政務活動報告書 ( 県外 ) ・ 国外 )

活動事項	高校における ICT 活用調査
活動年月日	令和2年10月26日
場所	島根県立情報科学高校
活動の相手方	鳥居俊孝校長、青木利積教頭、福間亮子教諭等
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 高校における、コロナ禍における ICT を活用した取り組みについて調査。</p> <p><b>【内容】</b> 4月から5月にかけての約1か月間の自宅学習とオンライン授業の実施。 WiFi 環境・端末のない生徒への貸し出し。 夏休みに、県教委が全県立高校へ Gsuite サービスの導入決定。 教員・生徒に GoogleMeet, Classroom の研修実施。 通常授業の中で、Gsuite を活用。 今後、朝礼、終礼、個人面接などにも活用。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> オンライン授業の良かったこと  <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がチャットで反応してくれる。</li> <li>・黒板・パソコンなど多様な方法が試せた。</li> <li>・資料の見易さや音声の聞こえ方などが平等。</li> </ul> <b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の表情が見えず、学習の様子や理解度が読み取れない。</li> <li>・教員の ICT 活用についての研修が必要。</li> <li>・教員の標準パソコンには生徒の個人情報などが入っているため県のセキュリティ上 Gsuite が使えない。教員にオンライン授業用のタブレットがもう1台必要。</li> </ul> </p>
関連領収書番号	117, 118

政務活動報告書（**県外**・国外）

活動事項	加納莞菴の国際的な平和活動学習
活動年月日	令和2年10月26日
場所	安来市加納美術館
活動の相手方	加納佳世子名誉館長等
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 画家、加納莞菴の、平和を希求し、フィリピン刑務所に戦犯として収容されていた日本兵の釈放・除名嘆願活動成就の経過と世界平和への貢献についての調査。</p> <p><b>【内容】</b> 名誉館長より、加納莞菴の活動についての解説を聞き取る。 島根県布部村出身の画家加納莞菴は、終戦により、フィリピン刑務所に戦犯として収容されていた日本兵105名の釈放・除名嘆願のため、たった一人で、フィリピンキリノ大統領、マッカーサー元帥、インドネール首相、ローマ法王等へ、300通以上の手紙を発出した。キリノ大統領自らが、妻や3人の子ども、その他5人の家族を日本人に殺されながら、決して日本人への憎悪をフィリピン国民が受け継いではならないとの決意のもと、日本兵への赦免を行った。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> 日本人であるがゆえに追わなければならない戦争の極悪と罪の意識を反省しつつ、「許し難きを許す」という奇跡によってのみ人類に恒久平和をもたらし、「目には目を」ということでは決して達成しえないということ、粘り強く訴えたことが、フィリピンのキリノ大統領の心を動かし、世界の友好・平和という崇高な宗教的哲学論に根差した、結論を得るに至った。 平和を求める思いと、相手を許すという崇高な思想が、世界の平和をもたらすために欠かせないということ、深く学んだ。</p>
関連領収書番号	117, 118

政務活動報告書 ( 県外 ) ・ 国外 )

活動事項	中山間地の地域づくり調査
活動年月日	令和2年10月26日
場所	安来市広瀬町比田交流センター
活動の相手方	川上義則えーひだカンパニー代表取締役 (比田地区小さな拠点づくり推進協議会会長) 他
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 中山間地の小さな拠点と地域づくりの調査。</p> <p><b>【内容】</b> 住民の話し合いによる比田地域ビジョンの作成。 住民による地域づくりを行うためのえーひだカンパニー(株)設立。 デマンド交通を担うえーひだ交通運営協議会設立。 高齢者への食事提供と小学生向けの英語塾を行うえーひだ逢愛会設立。 中山間地における、交通、買い物、福祉など生活を支える仕組みづくりとして、複数の公民館エリアの地域住民が連携して小さな拠点づくり推進協議会を結成し、県によるモデル指定を受け、拠点施設を整備し、住民主体による地域運営を行っている。</p> <p><b>【結果(成果)等】</b> 人口減少等、地域住民の危機感を共有し、有志で動き始め、住民同士の話し合いを繰り返し、参加者の輪を広げていったことが、結果につながった。 いろいろな職業の人が得意分野のポジションにつき、力を発揮した。 若手メンバーの当事者意識が高まった。 地域づくり組織を持続可能とするため、法人化(株)し、取締役会、運営委員会のもとに、定住促進部、地域魅力部、販売部、交通運営協議会など、住民参加の様々な活動組織を作り、地域住民を支えるとともに愛される組織となっていくた。 など、鳥取県における取り組みの参考となる調査活動ができた。</p>
関連領収書番号	117, 118

政務活動報告書 ( 県外 ) ・ 国外 )

活動事項	地域発の文化芸術活動について調査
活動年月日	令和2年10月27日
場 所	松江市八雲町 しいの実シアター
活動の相手方	特定非営利活動法人あしぶえ 園山士筆理事長他
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 地域住民に支えられた地方の小劇団、小劇場の運営について学び、演劇の持つ力と、地域づくりへの寄与について調査する。</p> <p><b>【内容】</b> 1966年 劇団あしぶえ設立。 1995年 八雲町の協力を得て、国内初の公設民営劇場「しいの実シアター」完成。 1999年 地域住民、八雲村、劇団あしぶえが一体となって、国際演劇祭をスタート。海外から劇団を招く。 2014年・2017年 森の演劇祭と名称を変更し、国際演劇祭を実施。300人のボランティアの参加を得て成功。次回は2020年実施予定だったが、コロナ感染症の拡大により、2022年に延期。 劇団の運営は、チケット収入と、会員からの会費、寄付、助成金、補助金等により賄われている。 芸術とくらし体験で、子供の感性、創造性を育むしいの実シアター未来学校の講座を開始。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> 演劇に対する強い思いが、ここまで発展してきた要因である。また、国際演劇祭については、企画の面白さ、住民への気軽な参加を呼び掛ける発信などに工夫がある。そして運営を担う、自立的で意欲に満ちた松江市民総勢300人のボランティア活動が、特徴的である。 まさに劇団と演劇活動が地域に根付き、地域住民によって支えられているということで、鳥取県における文化・芸術活動の発展や地域づくりの参考になると思った。</p>
関連領収書番号	117、118

政務活動報告書（**県外**・国外）

活動事項	島根県の関係人口の取り組み調査
活動年月日	令和2年10月27日
場所	島根県議会議事堂別館
活動の相手方	島根県しまね暮らし推進課 芳賀健人課長
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 島根県の関係人口等を増加させる取り組みとしての、「しまことアカデミー」事業について調査。</p> <p><b>【内容】</b> 首都圏、関西圏、広島都市圏、島根県内在住で、島根県の地域づくりに関心がある人を対象に、コミュニティ・ビジネスや街づくり活動を通じた地域イノベーターを育成するため、ソーシャル人材育成講座（東京講座、関西講座、広島・島根講座）を実施。 民間人、しまことアカデミー修了者による企画運営。 コロナ禍にあった令和2年度は、オンライン講座として実施。 7回の講座での学びと交流を通じて、関係人口として、島根県内の地域にかかわったり、また島根県へ移住するきっかけ作りを目指している。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> しまことアカデミーは、島根県をより身近に感じるだけでなく、地域づくりに取り組んでいる講師陣の豊かな経験や知識を学ぶことができ、関係人口としての活動や移住を促す効果が高いと感じた。鳥取県においても、今後の関係人口形成の参考になると考える。</p>
関連領収書番号	117, 118

政務活動報告書 ( 県外 ) ・ 国外 )

活動事項	島根県の学校魅力化と地域みらい留学の取り組み調査
活動年月日	令和2年10月27日
場所	島根県議会議事堂別館
活動の相手方	地域魅力化プラットフォーム 岩本悠代表理事他
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 島根県の地域課題の解決に向けた取り組みを中心とした学校魅力化と、県外から留学生を受け入れる地域みらい留学の取り組みについて調査し、本県の高校魅力化と地域づくり、留学生の受け入れに向けた参考とする。</p> <p><b>【内容】</b> 隠岐島前高校における魅力化、地域みらい留学の取り組み。コーディネーターがかかわって、高校と地元町村、地域住民でビジョンの共創。 地域課題が絶好の教材。地域全体が学校。住民も先生。ICTも活用し、グローバルに学ぶ。高校は独自に教科、科目を設定できる。身の回りの切実な課題を発見し、調べ学習をして、実践的に解決していく学習。 地方の子どもの傾向としての、関係性の固定化、価値観の同質化、刺激や競争の不足。全国から意志ある多彩な脱藩生徒の募集、受け入れにより、生徒数が増えるだけでなく、地元生徒の積極性の発現。島根県の高校再編計画の方向性も転換し、「県立高校魅力化ビジョン」策定。中山間地域の高校を残し、同様の取り組みを全県展開。高校と地域社会をつなぐコーディネーターが重要。市町村が県立高校に配置し、県も人件費助成。コーディネート人材として、社会教育士の育成に着手。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> 中教審、高校WGで、高校改革の柱の一つとして、地域社会との連携、協力を重視し、地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科の創設という方向が出された。 学校と地域の協力関係作りが大切で、子どもの成長のためという視点で共通のビジョンを持てる。 鳥取県においてもコーディネート人材を育成しながら、同様の取り組みを進める必要があると思った。</p>
関連領収書番号	117, 118